

総合計画策定に係る
市民ワークショップ報告書

令和5年9月

総務部企画政策課

目次

1. 概要.....	3
2. 参加者アンケート.....	11
3. 当日の実施風景.....	14

1. 概要

1-1. 開催の目的

次期総合計画である八街市総合計画2025の策定に当たり、市民の方の想いや願いを取り入れた総合計画を策定するため、参加者が思い描く理想の八街市の姿についてアイデアをいただき、検討材料とすることを目的に開催した。

1-2. 開催概要

日 時: 令和5年9月2日(土) 14:00~16:30

場 所: 八街市総合保健福祉センター3階大会議室

参加者: 市内に在住、在勤または在学している方 18人(4グループ)

協働のまちづくりコーディネーター 5人(ファシリテーターとして参加)

1-3. 当日内容

(1) 開会

(2) 企画政策課長あいさつ

(3) 本日の趣旨

(4) 八街市の現状と課題

(5) ワークショップ「八街市における10年後の将来都市像について」

i. グループ内自己紹介

グループ内で一人30秒程度で、名前と参加理由を話す。

ii. 個人ワーク

10年後、本市がどのようなまちになって欲しいかについて、付箋に1枚1意見で書き出す。

iii. グループ内意見交換

書き出した意見をグループ内で理由を添えて発表し、模造紙に貼付、似た意見をグルーピングする。

iv. キーワード抽出

グルーピングした意見毎にキーワードを考え、模造紙に書き出す。

v. 将来都市像(キャッチフレーズ)作成

キーワードを組み合わせて文章化し、模造紙に書き出す。

vi. 全体発表

発表者を決めて、将来都市像とそこに込めた意味について1グループ2分程度で発表する。

(6) 総評

(7) 閉会

1-4. 結果概要

(1) 結果概要

各グループより計 8 つの将来都市像が作成され、「自然」、「子ども」、「子育て」といったキーワードが多く見られる結果となった。

また、個人ワークでの意見については、どの分野にも分類できない、もしくは複数の分野にまたがる要素・取組から構成される意見である「分野横断」の意見が最も多く、次いで都市基盤整備分野の意見、産業・経済分野の意見が多い結果となった。

参考：各グループにおける発表資料



(2) 各グループにおける将来都市像とそこに込めた意味、キーワード

※一部表現の修正や内容の補足をしております。

	将来都市像	将来都市像に込めた意味	キーワード
グループ1	愛のある 未来に生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・新旧住民、子ども、若者、高齢者、外国人、障がいのある方など様々な方々がふれあえる様な地域コミュニティが形成されている ・どのような人でも多様に活躍できる場所や色々な可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい ・子ども ・若者 ・外国人 ・障がいのある人 ・市街地計画 ・自然 ・防災コミュニティ ・文化・スポーツ
	未来へ人がつながり		
	安心に住みつづけられる街八街		
	子供から高齢者が輝く ヒューマンフィールドやちまた		
	ひと・まち・みどり 住みつづけたいまち八街		
グループ2	～しあわせになりたいならやちまたしへ～ 自分らしさで拡がる輪	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の方も多いので、文化などお互いを認め合える様な温かさがある ・子育てしやすい ・二拠点居住ができる ・市外へ転出した若者が帰ってきたくなるような街 	<ul style="list-style-type: none"> ・人のつながり ・自然 ・地元愛 ・フラット ・子ども、家族 ・ふるさと ・自分らしく
	子ども、家族、地域、人のつながりと自然、 文化溢れるふるさと		
グループ3	緑豊かに心豊かに健やかに 安心して支えあえる八街	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かであることや基幹産業である農業をこれからも大切にしていきたい ・文化的なイベント等を通して、人々が交流できる ・どの世代も健康が第一である ・安全なまちづくりを進めてほしい ・高齢者世代や子育て世代など世代を輪切りにするのではなく、どの世代も共に生きるという考え 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化 ・自然 ・健康 ・世代交流 ・子育て支援 ・生涯学習 ・調和 ・平和 ・助け合い ・共生 ・情報化 ・科学技術 ・安全
グループ4	自然豊か、未来につなぐ、 「意外といいぞ!」やちまた	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に非常に強く自然が魅力 ・企業誘致や農業振興が重要 ・教育や子育てへの支援 ・高齢者への支援 ・交通の整備 ・地域格差の是正 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然 ・産業 ・教育 ・子育て ・交通 ・多様性

(3) 個人ワーク(10年後、本市がどのようなまちになって欲しいか)での意見

個人ワークでの意見について、現行の総合計画における8つの政策分野に、どの分野にも分類できない、もしくは複数の分野にまたがる要素・取組から構成される意見である「分野横断」を加えた、計9つの分野に分類した。

分類した意見については、以下のとおりである。

○ 都市基盤整備分野

・交通が便利になるような型
・利便性が良い
・住み続けることができる
・みどりあふれる美しいまち 緑化率が高く整備されたまちなみと市民の憩いの場
・軽井沢のように別荘地にもなるような土地が欲しい
・都心からアクセスしやすくも、自然を満喫できる設備が整っている市
・最先端のインフラに替え、魅力的な街にする
・バスの運行を増やし、八街市の隅々まで車がない人やお年寄りもアクセスできる市
・歩けるまち 散歩しやすく、人との交流が自然に生まれる
・モノレール等新交通システムがある街
・鉄道の充実をはかり、まちづくりを推進する
・ランドマークタワーのようなシンボリックな施設がある
・道の駅をつくる
・健康第一 体力づくりや交流ができる公園などがある
・無秩序な乱開発は規制するまち
・移動手段が整備されている
・公共交通の整備
・インフラの整備されたまち
・中心部の魅力再生
・交通の整備 今よりも変化を感じられること
・道路整備されたまち(歩車区分)
・街のインフラを平等に 南部の充実
・総武本線の複線化 できなければ佐倉迄のピストン輸送
・通勤・通学の良いまち(東京直通電車の増発)

○ 防災・消防・安全分野

・安全に暮らすことができる
・防災に強いまち、県内 No.1 態勢
・災害時に協力体制が計画され、市民と一体化
・八街警察署になって欲しい
・消防署の充実
・災害時の助け合いがあるまち
・安全安心な地域ができている
・安全 命を守ることができる
・街中の防犯カメラ設置
・首都圏で災害があった時の後方支援基地としての準備
・飲酒運転の取り締まり強化
・飲酒運転をさせないための対策(全国的话题)
・災害のないまちをアピール 首都圏が近いので通勤者を多く呼び寄せる

○ 保健・医療・福祉分野

・福祉・ボランティアの充実
・安心して子どもを産めるまち 産婦人科と最先端の不妊治療誘致
・子育てがしやすいまち
・子育てで孤立しないまち
・子どもがいる学童と家にいるお年寄りがともにふれあえるような助け合いのまち
・遊び場、子育ての質が高いまち 地域みんなで子育てを
・高齢者が生き生きとしているまち
・高齢者が自分の意思で自由に出かけられるまち
・子育て世代が多く住めるまち
・陽だまりサロンづくり
・高齢者が繋がっている
・産婦人科の誘致
・市立病院のあるまち
・高齢者にやさしいまち
・良い保育施設が増えてほしい

○ 生活環境分野

・自然を残してほしい
・水の綺麗な市
・緑豊かであり続ける
・ゴミがなくきれいなまち
・自然豊かな住みよい街

○ 文化・教育・学習分野

・こどもが安心して学ぶことができる
・多文化共生の進んだ街(交流拠点・かけこみ相談・分かりやすい日本語発信)
・生涯学習・スポーツ振興
・文化施設等コンサートや芸能人が参加したり、市民が発表をする場が欲しい
・給食が安全で美味しいまち 地元の食材でつくられる顔の見える食の時間
・こどもたちが色々なことを学べる機会の多いまち
・学びの自由度が高いまち 郷土愛、感性、倫理、世代間交流など
・文化豊かな街
・文化のある書道で街づくりができる
・音楽で心豊かにできる 音楽ホール、音楽祭
・地域行事、文化の継承
・文化ホールづくり
・教育環境の整ったまち
・こどもの教育が重要、評価される学校

○ 産業・経済分野

・仕事がある、働き続けることができる、こどもが就職できる
・若人が集まるような街、首都圏に対応した農業観光のメッカにしたい
・北口に駐車場が多いが、商店街の様な建物が出来たら良いと思う
・他市町村より人々が集まりやすい場所があれば、商工業の発展にもなると思う
・駅前が活性化され、若者とお年寄りがふれあえる商店街のある市
・地産地消 安心して安くて新鮮な地元野菜が食べられるまちで自給自足的に暮らせる
・成田が近いのでそれを強みとしたショッピングセンターを作る
・データセンターがあるまち
・若者がチャレンジしやすい市
・八街市の経済が回るような体験施設、工房が集うような観光地が欲しい
・おしゃれな観光施設がある
・農業体験の拡充 ショートステイ
・食育 安全な食べ物 食品ロスを無くす
・市内全域の街ゼミ開催
・農業の集約 農業団地
・商工業の調和のとれたまち
・八街市農産物 地元の方のファーマーズマーケット
・農業中心で良いが農家が自立できるような政策(結婚も含めて)
・近隣の街のように新たな産業を呼び込みたい
・近隣でも仕事場が増えてほしい

○ 協働・自治分野

・区から離れることが多いが、皆が区に入ってほしい
・地域の人達が近所の方のネットワークを活かせる
・人に優しくすることができる(自分に余裕がある)、助け合える
・市民交流拠点を作り、地域活動を活発に
・一人でも多くの市民が世のため人のために行動できるようにする
・まちづくりや生活課題、地域課題を話し合える場がたくさんあるまち
・コミュニティセンターが必要とされている役割を果たす
・自助 自立した生活ができる市民
・共育 子育てを家庭の中だけでせず、周りの人々と協力してできる
・協働 行政に任せるのではなく、自分たちのできることを広げていく
・共助 周りの人と助け合って暮らすことができる

○ 行財政分野

・愛着が持てる、定住してもらいたい
・2 拠点居住 ライフエンjoyできるまち 都心との距離を活かす
・市民と企業と行政が CSR (組織活動を行うにあたって担う社会的責任)を進めるまち
・財政力豊かなまち
・郷土愛 地元を大切に作る心を持つ
・情報共有される発信力
・政治に興味を持つ 投票率を上げる
・若者の人口が増えてほしい
・若い方が住みつくことができる街

○ 分野横断

・こどもが多い街(次世代の人口が増加して欲しい)
・落花生について小中学校で知識を深め、研究課題とする
・効率の良い市街地形成、効率の良い行政サービス、効率の良い財政
・一人一人が役割を持てる(誰もが活躍できる)
・可能性が多く存在する
・WARMCITY 構想(人の顔が見えるあたたかいまち)
・QOL(生活の質)の高いまち 物質的なものやトレンドではなく心の豊かさ
・54 市町村で 1 番 SDGs を推進するまち
・外国人が住みたい街
・LGBTQ、外国人、障がい者など誰もが生きやすく、暮らしやすいまち
・年代に関係なく活躍できるまち
・電波 6G 等のインフラが充実している
・情報格差のないまち ローカル 5G など無料のインターネットインフラと IT の学習機会が平等にある

・子どもたちのアイデアがまちづくりに反映される仕組み
・学生の街になり、面白い店がたくさんある
・図書館や映画館が駅前にある
・大学など研究開発施設がある
・レンタルスペースやダンススタジオを増やして健康に
・コンサートホール等アミューズメント施設があり、イベントがある
・良品計画とコラボしリノベーションの街にする
・高齢者の農業体験
・所得が少しでもアップできるようなまち
・若者が住みやすいと思えるところ
・得意なことを活かすことができる
・区・行政が地域の高齢化に対応している
・子どもが喜ぶこと 地元を大切にする
・街が今の状態で変わらないことも必要
・多様性を認めた社会
・子どもばかりでなく、誰でも平等な生活を
・若者が動ける社会

2. 参加者アンケート

2-1. アンケート概要

参加者を対象とし、本市民ワークショップについての意見等を聴取することを目的にアンケートを当日配布にて実施した。

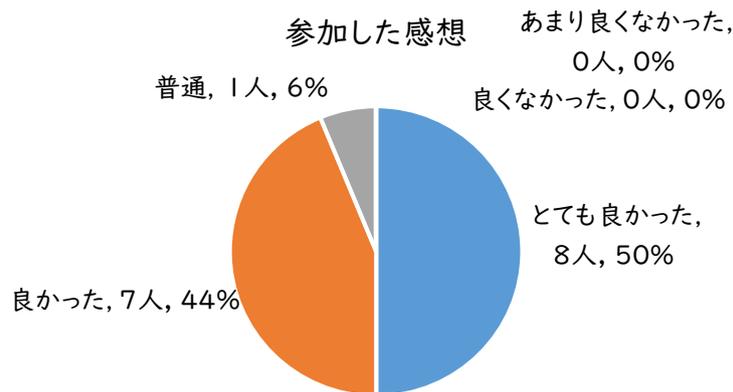
回収数については以下のとおりであった。

配布数	18人
有効回収数	16人
有効回収率	88.9%

2-2. アンケート結果

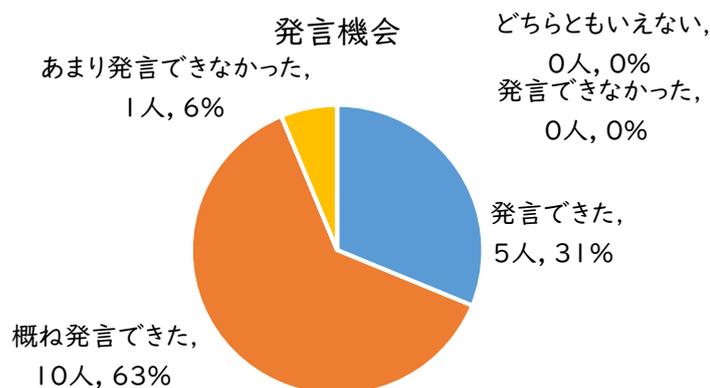
問1. 本日のワークショップはいかがでしたか

本ワークショップに参加した感想は、「とても良かった」が8人、構成比50%と最も多く、次いで「良かった」が7人、構成比44%となっている。このことから、参加者は概ね本日のワークショップの内容について満足していると思われる。



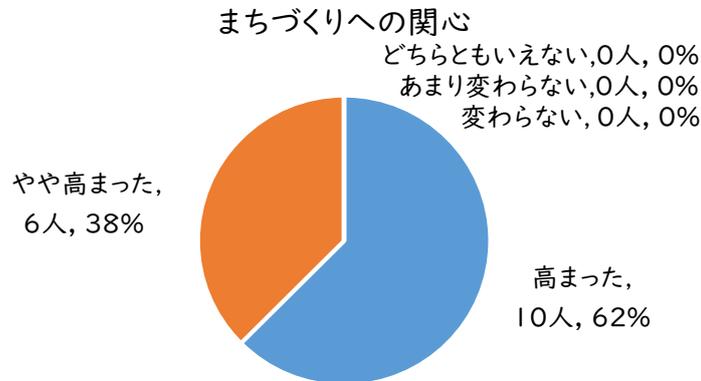
問2. 本日のワークショップでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか

自分の意見を発言できたかについては、「発言できた」が5人、構成比31%と最も多く、次いで「概ね発言できた」が10人、構成比63%となっている。このことから、参加者は概ね自分の意見について発言できたと思われる。



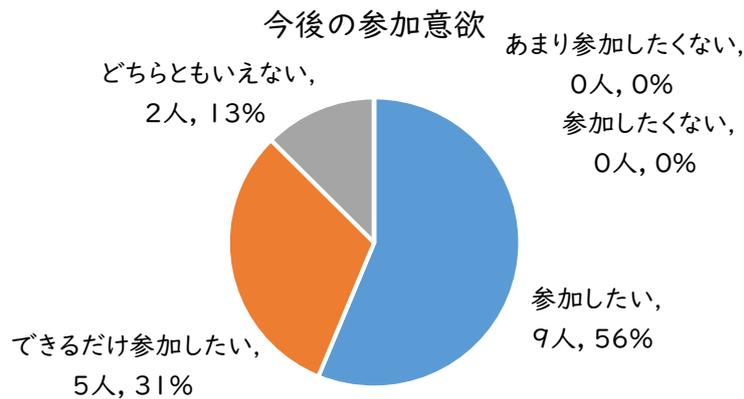
問3. 本日まで参加いただいたことで、八街市のまちづくりに対する関心が高まりましたか

まちづくりへの関心については、「高まった」が10人、構成比62%と最も多く、次いで「やや高まった」が6人、構成比38%となっている。このことから、本ワークショップは参加者のまちづくりへの関心を高めるものであったと思われる。



問4. 今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか

今後の参加意欲については、「参加したい」が9人、構成比56%と最も多く、次いで「できるだけ参加したい」が5人、構成比31%となっている。



問5. 本日のワークショップに対して、気付いたことや感じたこと、その他意見等があれば
お聞かせください（自由記述）

概ね好意的な意見が多く出ている一方、時間が足りないとの意見も出ているため、今後同様のワークショップを開催する際はタイムスケジュールについて再検討が必要である。

<ul style="list-style-type: none">・ 時間が足りない位でした。メンバーを変えて何度もできたらいいと思います。参加世代が少し高めなので、子育て世代や働く世代などを集めたり、また、課題が違うので地区毎に開催しても面白いと思います。
<ul style="list-style-type: none">・ 色々な意見が出て良かったと思いました。皆さん同じような意見が多かった様に感じましたが、希望を言っても実現できなければならないので、実現できることをやってもらいたいと思います。
<ul style="list-style-type: none">・ 地元が中心で根本的な将来の話ができなかった。
<ul style="list-style-type: none">・ なかなか難しいかもしれませんが、若い人の参加も高まるといいと思います。10年後の将来を考える議案は大変良かったと思います。
<ul style="list-style-type: none">・ 色々なことが話に出てきて楽しく学ぶことができました。ありがとうございます。
<ul style="list-style-type: none">・ もう少し時間があった方が良かったと思います。大変良い機会を与えていただきありがとうございました。問題をもう少し限定してワークショップをしたいと思います。
<ul style="list-style-type: none">・ 付箋を仕分けして貼る模造紙を大きくし、離して分類しやすくする。また、キーワード抽出には時間をかけた方が良い。
<ul style="list-style-type: none">・ 参加された皆さんは、八街を愛している人ばかりだった。賛否はあるが、良いモノが創れる感じを受けた。
<ul style="list-style-type: none">・ このような機会が頻繁にあると良いと思いました。人のつながりの場の創出、意見を出し合ったり、話（対話）のできる環境づくりがまず第一歩かなと感じた次第です。市内に暮らす方の様々な考えが聞けて非常に有意義でした。
<ul style="list-style-type: none">・ このような機会を増やしてほしい。出たアイデアをアウトプットしフィードバック、反映する企画・仕組みを検討してほしい。外国籍の方や障がいのある方、中高大生も参加が出来たらもっといいですね。
<ul style="list-style-type: none">・ 八街の持っているポテンシャルを引き出し、コーディネートできればすごい街になると思う。1.外国人、2.東京に通っているビジネスマンの退社による地元活動、3.子どもたちのIT教育の可能性、以上を基にうまくコーディネートしてほしい。
<ul style="list-style-type: none">・ 時間が足りなかったようです。初めての人と色々話し合えて良かったです。

3. 当日の実施風景

3-1. グループワークの様子



3-2. 発表の様子

